

平成28年度 北区の「まちづくりの展開」について

区ビジョンまちづくり計画

(仮) 北区まちづくり検討

◎急激な人口減少、少子化、超高齢社会に対応する持続可能なまちづくりを進めるため、各地区で地域課題を検討すると共に区全体で若い世代から北区の未来を考えていただきます。

※流れ: 4月コミ協総会で概要説明、7月区長と語る会で課題を選定、その後本格稼働

<事務局: 課題関係課>

○地域課題の検討

- ・商店街や地域の賑わい創出、雇用創出、福祉、防犯防災などの現在及び当面の地域課題を各コミ協等で検討
- ・地域課題の選定は、各コミ協等と区で相談して決定

区ビジョンまちづくり計画の実施計画に反映

<地域課>

○ワークショップ「北区の未来予想図」

- ・区長と一緒に20年後の北区の未来を考える。(数回)
- ・次世代を担う若者で構成(各コミ協等から2名程度推薦)
- ・意見集約を自治協で発表し、各コミ協等で次期事業化の参考に
- ・若者世代と基本構想検討会議との意見交換会を開催

若者の意見を新庁舎基本構想の検討に反映

自治協の役割

- ・検討結果の報告を受け、北区全体の課題に関するものは、関連する自治協の部会で総合的に検討し、必要と認める場合は、市に提言する。

「葛塚地区」実行計画ワークショップ

- 構成員: 30人程度(3~4グループのワークショップ形式)
若い人、女性、PTA、JC、農協青年部、公募 など
- 検討内容: 公共施設の将来のあり方を検討
ワークショップの意見を基に、施設配置モデル3案程度を作成。
①施設の最適化②施設の長寿命化③太田小学校の活用
④複合化 ⑤現庁舎新館の活用 等
※④⑤は、(仮)…基本構想検討会議と連携しながら進める
- 検討期間: 6月~3月
1月~1.5月に1回開催で計5回
《事務局: 財産活用課+北区関係課》

○複合化
○現庁舎新館の活用

(仮) 北区役所新庁舎基本構想検討会議

- 構成員: 自治協委員、区民(子育て世代)
医療福祉大専門家、経済団体、公募 など
- 検討内容: ①規模 ②機能 ③施設内容 ④PFI等
⑤新庁舎周辺の土地利用計画と交通計画
⑥出張所等の窓口機能の充実
(H27新庁舎整備の自治協意見書に基づき実施)
- 検討期間: 6月~12月
月1回開催で計5回
《事務局: 総務課》